

～わが街の小さな自慢～

茨城県坂東市は「ニッパー」家庭保有率 日本一

昭和の時代 この町は当時人口が3万人に満たない小さな町でした。

やがて岩井市になり平成の大合併で坂東市に発展しました。

市内に進出した当時庶民の3種の神器に例えられた茶の間の王様 カラーテレビの生産工場は最盛時 従業員が2500人に達しました。

工場見学に訪れた市内の子供たちは小さなかわいいニッパーの置物をお土産にもらっていたいそう喜びました。年月を経た令和時代今も市内や近隣の家庭、商店、元社員宅・・・に昔のお雛さまのように大、中、小いろいろなサイズのニッパーが茶の間のマスコットとして代々親しまれています。

This is Nipper で通用する世界で一番有名な犬「ニッパー」140年前イギリスで生まれ、蓄音器会社（Gramophone）のシンボルとして「ニッパー物語」と共に愛されてきました。



この街の中心公有地に市長や担当部門、商店街、会社ご公認のもと 縁あってニッパーが

既に4年以上に亘って道行く人に頭を垂れて Wel come すっかり地域の風物、シンボルドッグ、清楚な純白の忠犬として馴染んでいます。

従って「坂東市はニッパー家庭保有率日本一」「ニッパー物語+間中 勘物語」と共に50年、100年後につながるを期待します。

